

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

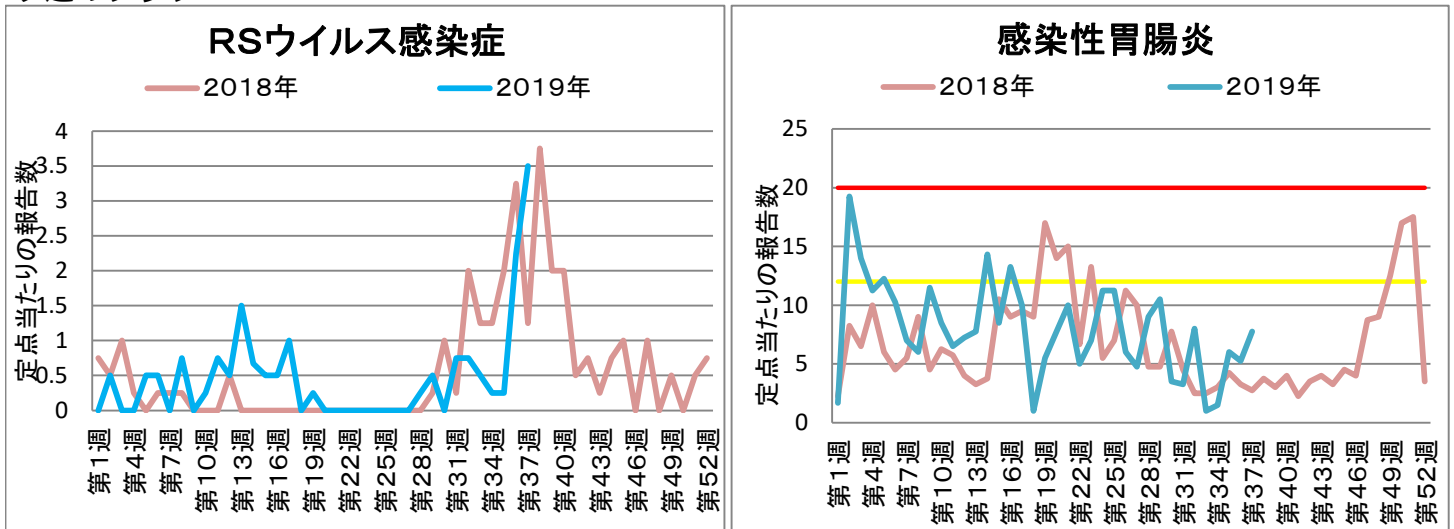
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 37 週 2019年9月9日 ~ 2019年9月15日

## 今週のコメント

- RSウイルス感染症の報告数が急増しました(定点あたり3.50)。この疾患は主に冬に流行する風邪の一種ですが、ここ数年は夏から流行が始まっています。症状は鼻汁や発熱、のちに咳が出ます。特に生後数か月以内の乳児では細気管支炎や肺炎となることがあり注意が必要です。飛沫感染と接触感染が主です。
- 感染性胃腸炎の報告数がやや増加しています(定点あたり7.75)。カキ等の魚介類はなるべく火を通し、嘔吐や下痢後は、流水と石鹼による手洗いをしっかり実施してください。
- 手足口病の報告数は減少しました。
- 百日咳の報告が1件ありました。
- 9月13日の厚生労働省からの報告によると、風しんの報告と、RSウイルス感染症の流行が続いているとのことです。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	伝染性紅斑	0.50
RSウイルス感染症	3.50	突発性発しん	1.50
咽頭結膜熱	1.00	ヘルパンギーナ	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.25	流行性耳下腺炎	0.25
感染性胃腸炎	7.75	急性出血性結膜炎	-
水痘	-	流行性角結膜炎	-
手足口病	3.50		
1~4類、5類全数報告疾病			
百日咳(1人)			

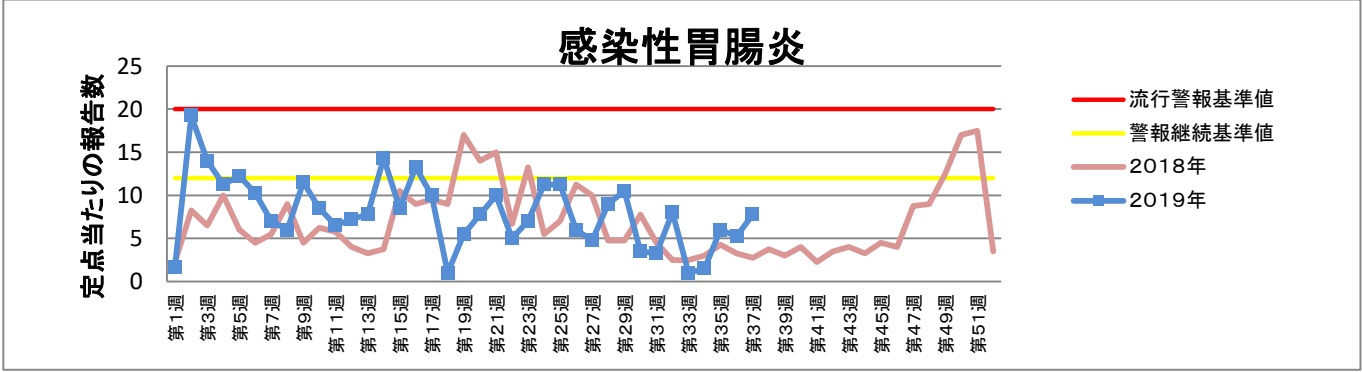
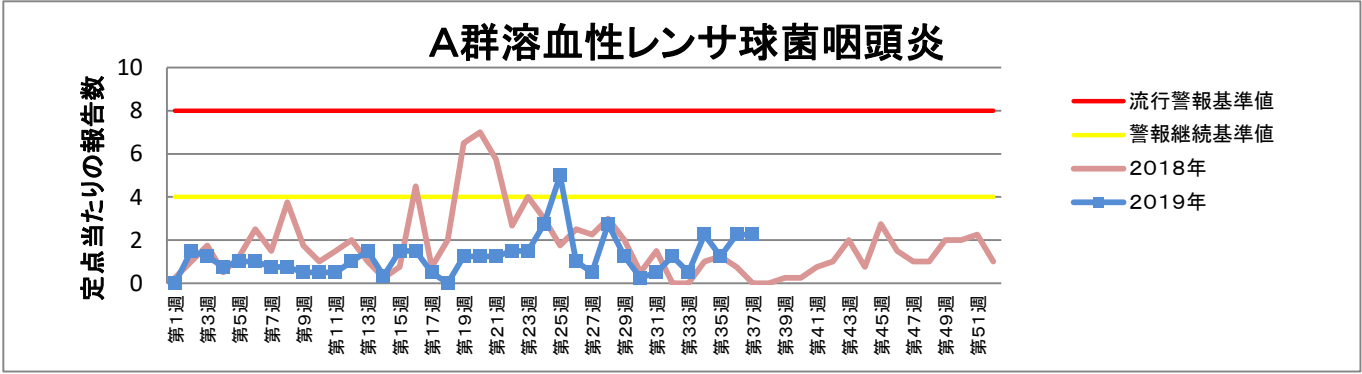
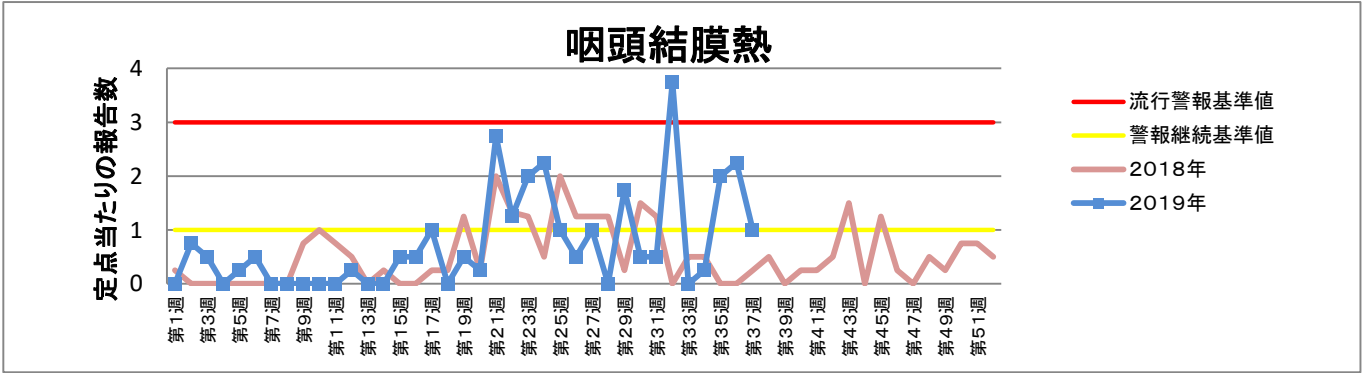
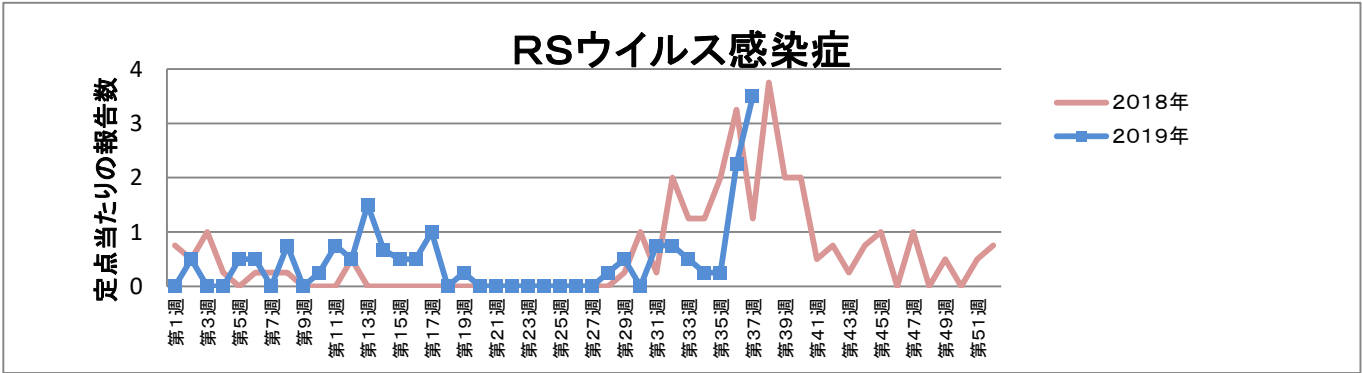
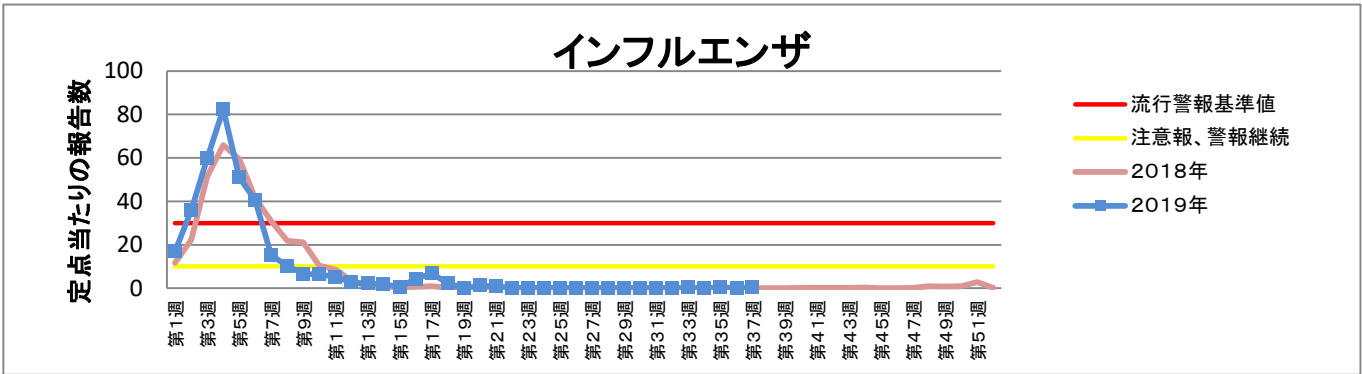
定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

- \* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

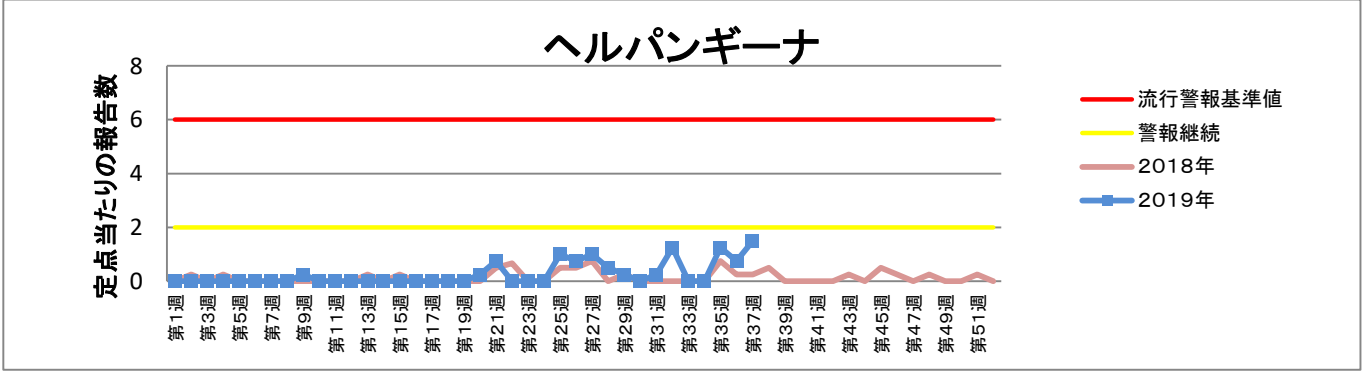
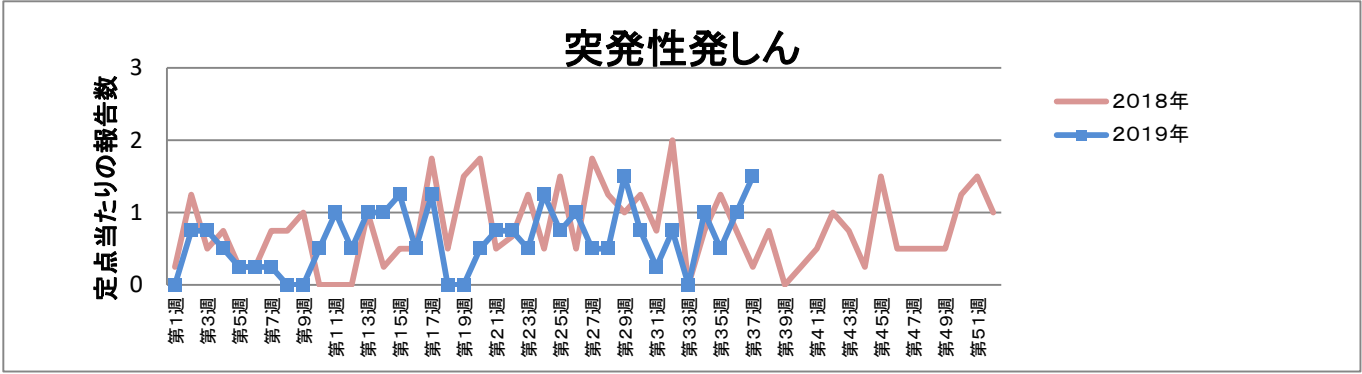
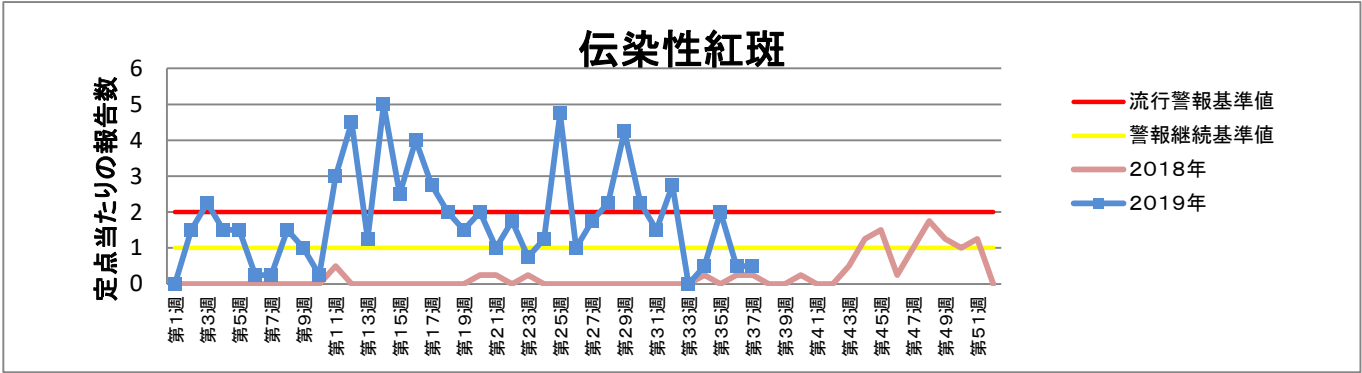
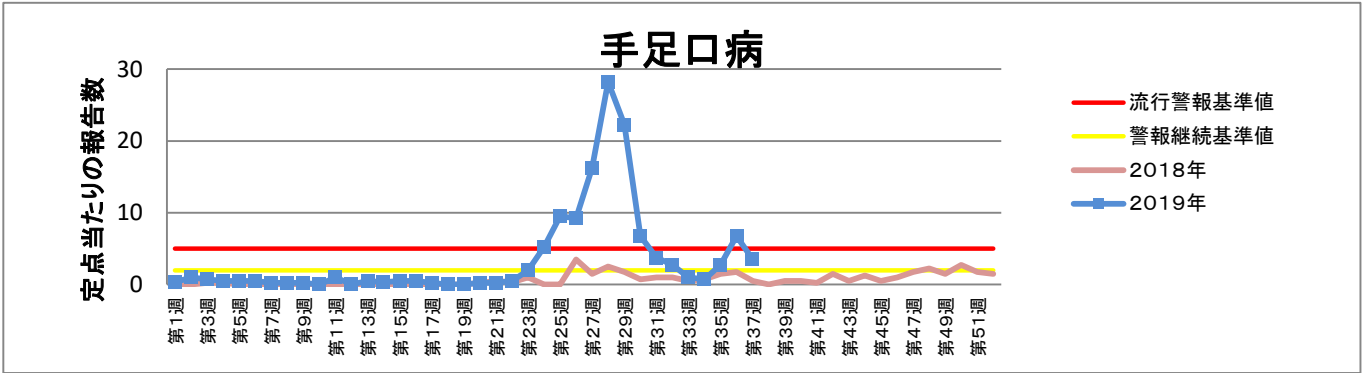
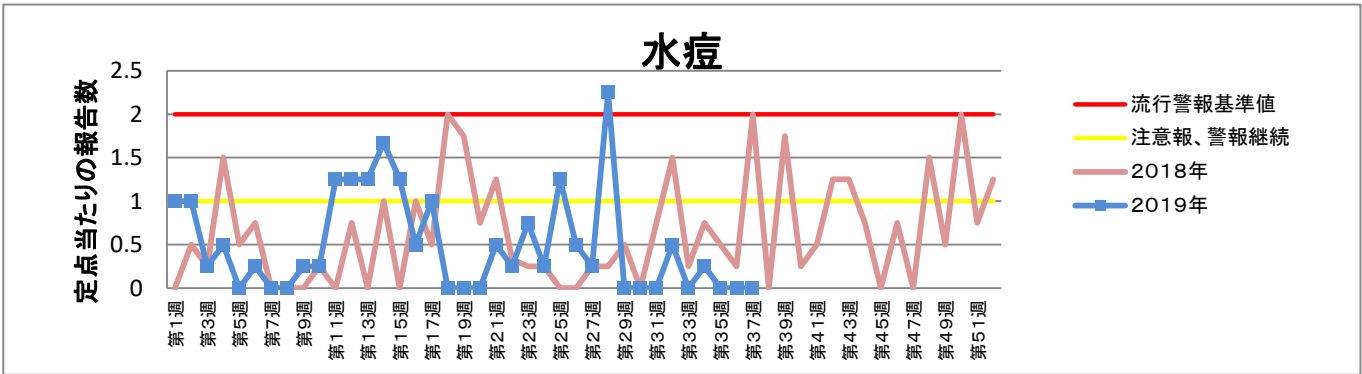
## 参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

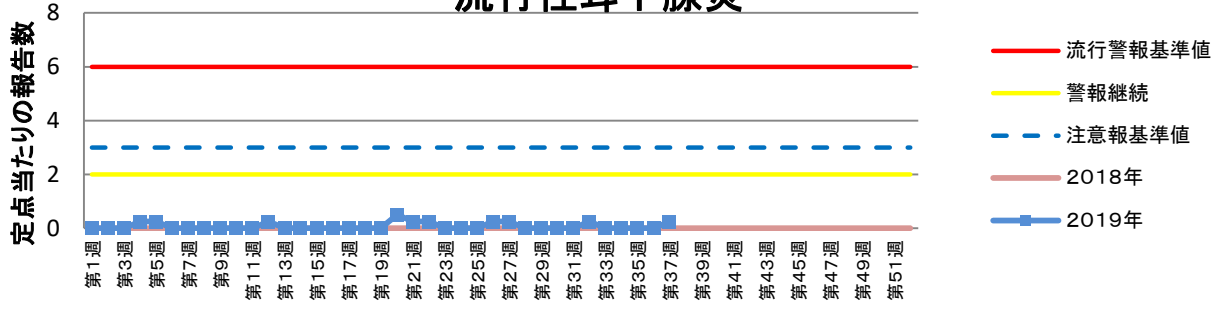


# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

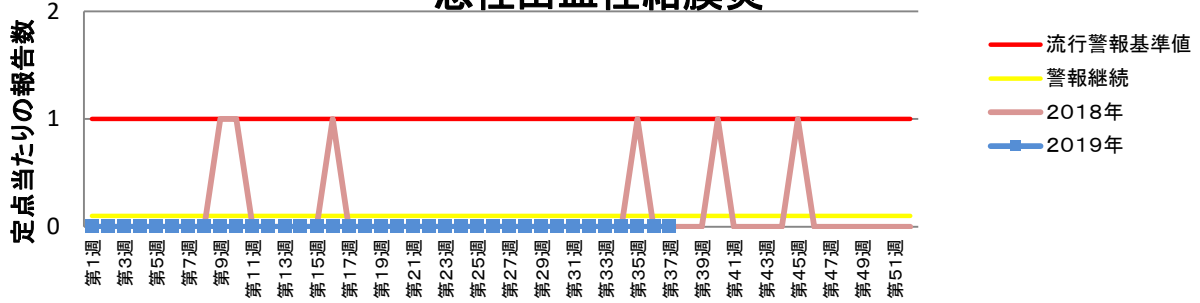


# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

## 流行性耳下腺炎



## 急性出血性結膜炎



## 流行性角結膜炎

